

ISK20周年記念第15回8時間耐久レース規則書

2017年11月3日

■はじめに

ルールやマナーを守れることを前提とし、株式会社ISKの定める競技規則書に基づいて開催されます。心身共に健康な方で、「安全」と「楽しさ」を追求出来る方、「非難しない」「中傷しない」「怒らない」の3原則を守れる方ならどなたでも参加できます。

尚、競技規則書は最後までお読みください。

■参加について

1) 参加条件

- ①上記「■はじめに」を守れ、レースで使用する車両（ビレル N35）を安全に運転出来る方。
- ②走行中に他の参加者と衝突してしまった場合、その参加者へ走行後すぐに謝れる方。
- ③安全を最優先とし、衝突してまでも追い越しをしようとならない方。

2) 開催日 2018年1月21日（日）

※悪天候でコースが使用できない場合は、※2018年3月4日（日）に延期予定。

3) 開催場所 幸田サーキット y r p 桐山

4) レンタル装備品について

今回の開場はISK施設ではありませんので、レンタル装備品（ヘルメット・グローブ等）のレンタルはありません。

また、雨天時に使用する雨具のレンタルもありません。

5) 雨天時の競技について

- ①天候によりスケジュールを変更する場合があります。
- ②路面がウエットコンディションであっても車両への装着タイヤはスリックタイヤとなります。

6) レース開催中止判断について

大会当日、天災等の理由により株式会社ISKが開催不可能と判断した場合は、開催延期となります。
※ただし、レース時間3分の2（320分）以上経過している場合は、レース成立とします。

7) 参加にあたって

- ①服装はレーシンググローブ・レーシングシューズ・レーシングスーツ・フルフェイスヘルメットが望ましいが、皮膚の露出が少なく運転に支障をきたさない服装（バイザーのあるヘルメット・長袖・長ズボン・手袋・運動靴）であればレースに参加できます。
- ②走行する際は、必ずヘルメットの顎紐を締め、バイザーを閉じ、服装も止めれる箇所はきちんと止めるようにして下さい。
- ③カメラ等をヘルメットに装着する場合は、脱落しないようにお願いします。
首や肩等にかけて胸にカメラを装着する行為は、衝突時の安全を考慮し禁止とします。
- ④ピットエリア内へ入る際は、サンダル等は不可とします。必ず靴を履いて入って下さい。
- ⑤幸田サーキット内にあるコンセントは全て使用禁止とします。
- ⑥駐車場に限りがあります。1チーム3台以内で、乗り合わせてご来場ください。

8) 競技中について

- ①レース中にスピン・コースアウトした場合、乗車したまま復帰できる場合は、後続からの安全を

- 十分に確認し、出来るだけ走行ラインを外したところから復帰し加速して行って下さい。
- ②復帰できない場合は、全てオフィシャルが助けにいきます。カートに乗車したまま、もしくは安全な場所で待機しておいてください。
ドライバーによるカートを降りてカートを押す行為は、安全の為禁止とします。
レースは安全を第一優先として運営します。修理・回収作業に対する抗議は一切受け付けません。
- ③走行中、アクシデント等により車両トラブルが出た場合は頭上で「×」印をして合図してください。オフィシャルが助けにいきます。
- ④競技中、無線の使用を一切禁止とします。ただし、Bluetooth（ブルートゥース）の通信機または携帯電話での通信は使用可能とします。

■イベントスケジュール

1) 競技内容は以下の通り

練習走行 30分

決勝レース 480分

※尚、各セッションの競技時間に関しては、天候等の状況を加味し、大会本部の決定により変更になることがあります。

2) タイムスケジュール

- ① 6:30 ゲートオープン
※必ず記入された誓約書を受付までお持ちください。
※チャレンジコースからレーシングコースへの下り坂をオープンします。
※受付時に最初に乗車するカートくじを行います。
- ② 7:30 ドライバーズミーティング
- ③ 8:00 練習走行（30分）
※最終ドライバーは、チェッカー後徐々に減速し、オフィシャルの指示に従ってください。
※練習走行終了5分前よりピットクローズとし、ドライバー交代は出来ません。
- ④ 9:00 決勝レース（480分）
※スタートは縦一列のローリングスタート
※第一ドライバーはスタート5分前には準備を完了しカートに乗車してください。
- ⑤ 17:30 表彰式

※天候やトラブル等でスケジュールが変更になる場合があります。
※進行を妨げるような悪質な行為は、退場を命じる場合があります。

■レースで使用される旗

- チェッカーフラッグ・・・競技（セッション）終了。チェッカーフラッグ後は追い越し禁止。クールダウンしてピットに戻る。練習走行後はコース上で車両を停止させますので、チェッカー後は徐々に減速してオフィシャルの指示に従うこと。
- 日章旗・・・・・・・・・・セッションスタート。競技スタート。
- グリーンフラッグ・・・・・・・・・・競技再開
- イエローフラッグ・・・・・・・・・・追い越し禁止。危険個所を注意し回避せよ。イエローフラッグ解除までは安全に余裕を持って走行すること。
- 赤旗・・・・・・・・・・レース中断。全車両徐行走行でオフィシャルの指示に従うこと。
- 白旗・・・・・・・・・・救助車両がコース内にいるので注意して走行すること。

- 半黒旗・・・・・・・・・・警告。プッシングやブロッキングで注意する。ゼッケン番号も同時に提示される。
- 黒旗・・・・・・・・・・ピットに入れ。ゼッケン番号も同時に提示される。ペナルティ。
- オレンジボール旗・・・・・・・・車両にトラブルあり、ピットに入れ。ゼッケン番号も同時に提示される。

■ドライバー交代の仕方（プッシュアウト方式。決勝レース時のみ）

- ①ピットロードに入る前に後続車両に対し、ピットインの合図（左手を肩より上に上げる）をし、安全にピットイン出来るようにする。ピットロードを徐行で走行し、ピットロード入口付近にある一旦停止で必ず一旦停止すること。
- ②一旦停止したあと、ピットロードを徐行（30km/h）以下で安全に走行し、ピットアウト付近にある交代エリアへ進む。
- ③交代レーンは2レーンあるので、どちらでも構わない。
- ④次のドライバーは準備を終えた状態で、交代エリアで待つこと。
※交代エリアへは次のドライバーしか入れない。
- ⑤交代エリアの2レーンは、先頭に並んでいるチームのみ交代が可能。
※2台目以降のチームは先頭車両がスタートするまで、乗車したまま待機しておくこと。
※交代キャンセルはできない。
- ⑥交代チームの停止は1分間とする。降車するドライバーはフロントに挿しているゼッケンを一番前のカートに挿しに行く。タイム計測ポインターはオフィシャルによって移動する。
次のドライバーは並んだ先頭のカートに乗車し、オフィシャルのスタート合図を待つ。
※後続で待っている車両は、順番が来てから1分間の停止となる。
- ⑦乗り換えたカートのガソリン量を必ず確認しておくこと。
※ガソリン搭載量は、バラバラです。ガス欠しないように注意してください。
- ⑧降りたドライバーは乗車エリアにあるテント下で、メモに「チーム名と名前」を記入し、BOXに入れる。
※賞品の抽選券となります。
※交代回数が増えれば確率UP。
- ⑨次のドライバーはピットアウトロードを安全に走行し、コース合流前にコースインの合図（左手を肩より上に上げる）をし、安全にコースに合流する。ピットアウトロード内で2コーナーからの飛び出し車両に注意をすること。

■練習走行（30分）について

- 1) 走行時間 30分
- 2) ドライバー交代が出来るのは、終了5分前までにピットインした車両まで。
- 3) 練習走行中はプッシュアウト方式は行わない。同じ車両に乗り換えて次のドライバーはスタートする。1分間の停止もなし。次のドライバーが乗車後すぐにスタートする。
- 4) 練習走行の最終ドライバーは、チェッカー後、バックストレートで一度停止します。チェッカーをうけたら徐々に減速し、いつでも停止できるように走行してください。
- 5) 練習走行中にペナルティを課すことは基本せず、オフィシャルより都度通達するが、悪質な場合、非常に危険な行為の場合は決勝スタート時にペナルティを課します。ペナルティ内容は競技長の判断で行う。
- 6) 練習走行で乗車した車両は、決勝レーススタート時にも同じ車両でスタートする。
- 7) 練習走行中に車両トラブルがあった場合は、競技長の判断で車両を変更する場合がある。
- 8) 練習走行時に、ガソリンがどのくらい使用しているかもチェックしておいてください。

■決勝レース（480分）について

1) 競技内容

8時間耐久レース（480分）

2) 順位の設定

走行周回数とその周回を終了したタイムによって決定する。

※完走した車両と途中リタイヤした車両で、**同一周回数**で競技を終えた場合、完走した車両の順位を優先にする。

3) 使用カート

練習走行で使用した車両でスタートする。

※決勝スタート前に決定していた車両でスタートできない場合は、オフィシャルの判断により予備車両にてスタートする。参加者の判断での車両交換は認めない。

4) 使用コース

幸田サーキット特設コース

5) レーススタート方法

セフティカー先導の縦1列ローリングスタート。

コントロールライン通過するまでは追い越し禁止。フライングと判断する。

ローリング走行中のスピンやコースアウトは、最後尾まで下がること

6) 交代回数と連続乗車時間、交代可能時間について

特に定めない。

ただし、ガソリン残量で調整する。※上記の「ドライバー交代の仕方」を参照

コース上でのガス欠は、ピットにオフィシャルと戻ってきてから、給油2Lと3分間の停止をする。

ドライバー交代は出来ない。

プッシュアウトで次に乗車するカートのガソリン残量をスタート前に確認しておくこと。

レース中ドライバー交代が可能な時間は、レーススタートからレース終了15分前までにピットに入った車両。

7) ペナルティについて

①ペナルティ（黒旗とゼッケン番号）を受けたドライバーは、3周以内にピットに戻ってくる。振られた周回を1周目とカウントする。

②ピット内のペナルティエリアへ停車する。

※ペナルティの説明もするので、**最低30秒間停止**する。

③ペナルティの説明を受けて再スタートする。その際ドライバー交代は出来ない。

ただし、ストップペナルティを課された場合、定められたストップ時間を経過した後再スタートする。

④場合によっては、競技長の判断により周回数減算のペナルティを課す場合がある。

※前の車両を追い越す場合、追い越す側の車両が注意して追い越すこと。前の車両と衝突してもよいという判断で走行しているような走行は、ペナルティの対象となる。

8) 失格について

①他の参加者の安全を省（かえり）みず行った危険行為

- ②オフィシャルの指示を故意に無視した場合
- ③ルールやマナーを守れない場合
- ④他の参加者を非難、中傷した場合

9) 車両交換について

- ①車両トラブルでの車両交換は全て競技長の決定とする
- ②乗り換える車両は、オフィシャルが準備した車両に乗り換える。
その場合、ドライバー交代は可能とする。ゼッケンとボンダーを取り付けたらすぐに再スタート出来る。
※競技終了15分前を経過してからのガス欠や車両トラブル等での救済は基本行わない。但し、競技長の判断でその通りではない場合がある。

10) セフティカーについて

- ①コース内でトラブルがあった場合、セフティカーを導入する場合がある。その場合、「SC」ボードが提示され、全区間追い越し禁止となる。
- ②セフティカー中は縦1列で走行すること。
- ③セフティカーの入る位置はランダムとする。
- ④セフティカー中はピットアウト出来ない。
- ⑤セフティカー解除で再スタートは、グリーンフラッグを使用する。
その場合、コントロールラインを越えるまでは追い越し禁止とする。
- ⑥ピット内でストップしている車両は、グリーンフラッグ後、隊列の最後尾車両が1コーナーを通過した後、ピットアウトできる。
- ⑦セフティカー中ピットアウトは出来ないが、交代でピットインした車両はルール通り、前の車両から順番に1分間の交代時間を計測しながら交代はしていく。セフティカー解除の際、交代完了している車両を随時スタートさせていく。
- ⑧プッシングカート（レスキューカート）でカートを回収できる場合は、セフティカーを導入しない。

■ペナルティの基本項目事項

- ①プッシング・ブロッキングまたは故意による衝突とオフィシャルが判断した場合。
- ②コースショートカット コースよりも更に内側（コース外）に故意に入って走行していると判断した場合
- ③安全確認義務違反（60秒） ピットイン・ピットアウト時の安全確認。またはコース上で復帰する場合、危険な行為と判断した場合課せられる。
- ④ピット内徐行違反（60秒） 30km/h以下で走行すること。ランダムにスピードガンで計測される。
- ⑤交代遅延行為 ドライバー交代で後続車両が待っている場合、スタート時刻になっても次のドライバーがすぐにスタート出来ない状況の場合。
- ⑥服装違反 ヘルメット顎紐締め忘れ等。「■参加について」の「7）参加にあたって」を参照
- ⑦イエロー区間違反 イエローフラッグ区間での追い越しや危険な走行とオフィシャルが判断した場合
- ⑧フラッグ無視（ストップペナルティ） 60秒～120秒
- ⑨その他、安全に関わる事項に対して違反があった場合、競技長の判断によりペナルティを課します。

以上

ISK20 周年記念

第 15 回 8 時間耐久レース in 幸田サーキット yrp 桐山

特別コースとピット図

